



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月18日

上場会社名：セントラル硝子株式会社

コード番号 4044

URL (<http://www.cgco.co.jp>)

上場取引所 東京・大阪

代表者 代表取締役 社長執行役員 中村 禎良
 問合せ先責任者 総務部長 藤木 紀久夫

TEL (03)-3259-7062

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容)
 連結(新規)1社 (除外)-社 持分法(新規)1社 (除外)-社

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額の百万円未満は切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第1四半期	48,031	(5.1)	4,527	(5.8)	4,688	(12.1)	2,755	(18.0)
17年3月期 第1四半期	45,715	(9.6)	4,808	(14.9)	5,334	(16.2)	3,359	(19.9)
(参考)17年 3月期	194,208		19,310		18,795		11,614	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期 第1四半期	12.85	11.52
17年3月期 第1四半期	15.66	-
(参考)17年 3月期	53.92	51.59

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における我が国経済は、原油価格の高騰など先行きに懸念材料があるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、緩やかな回復基調を辿りました。

当社グループは、このような状況下で積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第1四半期の売上高は48,031百万円と前年同期比5.1%の増加となりましたが、経常利益は、前年同期比645百万円減の4,688百万円、当第1四半期純利益は、前年同期比603百万円減の2,755百万円となりました。

事業区分別の概要

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、新設住宅着工戸数及びビル建築など非住宅の建築着工面積が増加したことに加え、防犯ガラスなどの機能商品の普及が伸展しました。また、昨年下半年より実施しました販売価格の改定が一部浸透し、売上高は前年同期を上回りました。

自動車産業向け加工ガラスにつきましては、海外子会社の販売が堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

電子産業向けファインガラスにつきましては、液晶関連需要が低迷し、厳しい状況で推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

なお、平成17年6月に、PDP用ガラス基板事業の本格化を図るべく、韓国にサンゴバン グラス フランス社及びハンクック グラス インダストリーズ社（韓国）との間で、生産販売会社「ディスプレイ グラス アライアンス インコーポレイテッド」を設立しました。

以上ガラス事業の売上高は前年同期比 0.5%減の 28,639 百万円となり、営業利益は原材料価格の上昇などにより、前年同期比 744 百万円減の 764 百万円となりました。

（化成品事業）

化学品につきましては、新規製品の本格的な売上加え、各製品の販売価格改定も浸透しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬関連製品の売上は増加しましたが、特殊ガス製品等の売上が減少し、全体の売上高は前年同期を下回りました。

肥料につきましては、平成16年7月より日本合同肥料(株)との共同販売会社「セントラル合同肥料(株)」における営業を開始しました効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、住宅・自動車分野及び電子・電気部品関連需要が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上化成品事業の売上高は前年同期比 14.6%増の 19,392 百万円となり、営業利益は売上の増加などにより、前年同期比 455 百万円増の 3,759 百万円となりました。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 た り 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第1四半期	231,100	110,259	47.7	514.20
17年3月期 第1四半期	222,540	101,311	45.5	472.34
(参考)17年 3月期	231,564	109,165	47.1	508.85

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	3,977	4,499	574	13,643
17年3月期 第1四半期	5,590	1,569	1,109	17,941
(参考)17年 3月期	21,514	13,606	8,231	14,692

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

（財政状態の変動状況）

当第1四半期末の総資産は 231,100 百万円となり、平成17年3月末に比較しまして 464 百万円減少しました。資産増減の主なものは、流動資産が現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより 1,756 百万円減少し、固定資産が設備投資などにより 1,292 百万円増加しました。負債は合計で 1,869 百万円減少しました。

株主資本は、平成17年3月末に比較し 1,094 百万円増加し、株主資本比率は 0.6%改善し 47.7%となりました。

なお、有利子負債残高は平成17年3月末に比較し 814 百万円増の 49,667 百万円となり、デット・エクイティ・レシオ（株主資本に対する有利子負債の割合）は平成17年3月末並の 0.45 倍となりました。

(キャッシュ・フローの変動状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより 3,977 百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 4,499 百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより 574 百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、平成17年3月末に比較し 1,048 百万円減少の 13,643 百万円となりました。

【参考】四半期個別経営成績等の概況 (平成17年4月1日 ~ 平成17年6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第1四半期	33,557	(5.3)	3,701	(17.5)	4,020	(19.7)	2,449	(20.7)
17年3月期 第1四半期	35,439	(5.8)	4,486	(9.6)	5,009	(12.3)	3,088	(6.6)
(参考) 17年 3月期	140,359		16,792		16,709		10,370	

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	207,483	101,395
17年3月期 第1四半期	202,729	93,969
(参考) 17年 3月期	208,123	100,852

3. 平成18年3月期の連結業績予想 (平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	95,000	7,500	4,900
通期	200,000	19,000	12,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 57円13銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成17年5月23日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想は修正しておりません。

【参考】平成18年3月期の個別業績予想 (平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	67,500	6,700	4,200	4.50	-	-
通期	142,000	16,300	10,300	-	5.50	10.00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 47円77銭

平成18年3月期の予想期末配当金の内訳は、普通配当4円50銭、創立70周年記念配当1円00銭であります。

上記に記載した予想数値は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。

今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

以上

【添付資料】

四半期連結（要約）財務諸表等

四半期連結（要約）貸借対照表

科目	期別 当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)		比較増減 金額	前年同四半期 (平成16年6月30日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
流動資産	93,401	40.4	95,158	41.1	1,756	92,408	41.5
現金及び預金	13,658		14,707		1,048	17,982	
受取手形及び売掛金	49,356		51,980		2,624	47,727	
たな卸資産	26,064		24,838		1,226	23,421	
その他	4,321		3,630		690	3,276	
固定資産	137,698	59.6	136,406	58.9	1,292	130,132	58.5
有形固定資産	90,558		88,842		1,716	83,285	
無形固定資産	1,831		1,697		133	1,550	
投資その他の資産	45,308		45,866		557	45,296	
資産合計	231,100	100.0	231,564	100.0	464	222,540	100.0
(負債の部)							
流動負債	70,844	30.7	72,314	31.2	1,470	74,345	33.4
支払手形及び買掛金	22,475		22,997		521	22,009	
短期借入金	24,014		23,182		831	32,788	
その他	24,354		26,135		1,780	19,547	
固定負債	49,441	21.4	49,840	21.6	399	46,470	20.9
社債	20,400		20,400		-	15,400	
長期借入金	5,178		5,186		7	6,646	
退職給付引当金	12,989		13,177		188	13,628	
その他	10,873		11,077		204	10,796	
負債合計	120,285	52.1	122,155	52.8	1,869	120,816	54.3
(少数株主持分)							
少数株主持分	554	0.2	243	0.1	311	412	0.2
(資本の部)							
資本金	18,168		18,168		-	18,168	
資本剰余金	8,118		8,118		-	8,117	
利益剰余金	75,139		73,613		1,525	66,109	
その他有価証券評価差額金	10,864		11,546		682	11,142	
為替換算調整勘定	1,805		2,061		255	2,046	
自己株式	225		220		4	178	
資本合計	110,259	47.7	109,165	47.1	1,094	101,311	45.5
負債、少数株主持分及び資本合計	231,100	100.0	231,564	100.0	464	222,540	100.0

四半期連結（要約）損益計算書

科目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		前年同四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		比較増減	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	金額
売上高	百万円 48,031	% 100.0	百万円 45,715	% 100.0	百万円 2,316	百万円 194,208	% 100.0
売上原価	33,417	69.6	31,370	68.6	2,046	134,718	69.4
売上総利益	14,613	30.4	14,344	31.4	269	59,490	30.6
販売費及び一般管理費	10,086	21.0	9,535	20.9	550	40,180	20.7
営業利益	4,527	9.4	4,808	10.5	280	19,310	9.9
営業外収益	1,002	2.1	944	2.1	58	2,628	1.4
営業外費用	841	1.8	418	0.9	422	3,143	1.6
経常利益	4,688	9.7	5,334	11.7	645	18,795	9.7
特別利益	40	0.1	4	0.0	36	357	0.2
特別損失	138	0.3	12	0.0	126	424	0.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,590	9.5	5,326	11.7	735	18,727	9.7
法人税等	1,825	3.8	1,957	4.3	132	7,105	3.7
少数株主利益	9	0.0	9	0.0	0	7	0.0
四半期(当期)純利益	2,755	5.7	3,359	7.4	603	11,614	6.0

四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

期別 科目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	前年同四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	百万円	百万円
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,590	5,326	18,727
減価償却費	2,389	2,361	10,283
引当金の増加額(は減少額)	873	1,612	226
売上債権の減少額(は増加額)	2,814	1,529	2,369
たな卸資産の減少額(は増加額)	1,112	786	1,964
仕入債務の増加額(は減少額)	586	106	828
その他	1,177	2,629	3,576
小計	8,399	9,341	28,856
法人税等の支払額	4,695	3,842	7,096
その他	273	90	245
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,977	5,590	21,514
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	3,892	1,815	13,511
その他	607	245	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,499	1,569	13,606
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(は減少額)	486	32	8,285
長期借入れによる収入	429	-	-
長期借入金の返済による支出	307	374	3,447
社債発行による収入	-	-	20,000
社債償還による支出	-	-	15,000
配当金の支払額	1,180	751	1,502
その他	3	49	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	574	1,109	8,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	0	4
現金及び現金同等物の増加額	1,048	2,912	318
現金及び現金同等物の期首残高	14,692	15,010	15,010
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物増加額	-	19	-
現金及び現金同等物の期末残高	13,643	17,941	14,692

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間（自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日）

	ガラス事業	化成品事業	計	消去又は全社	連 結
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28,639	19,392	48,031	-	48,031
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	643	461	1,104	(1,104)	-
計	29,282	19,853	49,135	(1,104)	48,031
営業費用	28,517	16,094	44,612	(1,108)	43,503
営業利益	764	3,759	4,523	(4)	4,527

前年同四半期連結会計期間（自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日）

	ガラス事業	化成品事業	計	消去又は全社	連 結
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28,795	16,919	45,715	-	45,715
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	357	768	(768)	-
計	29,206	17,277	46,483	(768)	45,715
営業費用	27,697	13,973	41,671	(764)	40,906
営業利益	1,508	3,303	4,812	(3)	4,808

前連結会計年度（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

	ガラス事業	化成品事業	計	消去又は全社	連 結
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	121,269	72,938	194,208	-	194,208
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,027	1,445	3,472	(3,472)	-
計	123,296	74,384	197,681	(3,472)	194,208
営業費用	117,847	60,618	178,365	(3,467)	174,898
営業利益	5,549	13,766	19,315	(5)	19,310

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製造方法及び販売市場の類似性により「ガラス事業」、「化成品事業」とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

ガ ラ ス 事 業 ----- 建築用板ガラス製品、自動車用加工ガラス製品、産業用加工ガラス製品等

化 成 品 事 業 ----- ソーダ・塩素製品、ファインケミカル製品、ガラス繊維製品、肥料製品等